

【金武町】  
校務 DX 計画

■GIGA 第 1 期の総括と課題の解決策

現在、クラウド環境を活用した校務改善の進捗状況は進んでいない状況となっている。特に下記項目について課題が残るため、課題と解決策を下記の通り計画する。

(1) 教員と保護者間の連絡のデジタル化

現在、電話や専用アプリケーションを活用し生徒の欠席連絡を受けているが、学習 e ポータル（まなびポケット）や校務支援システムの保護者連携機能を導入し、クラウドサービスから欠席連絡を受け、学内の管理情報に即時反映される環境を整備する。

(2) 教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

現在、教育委員会からの依頼や学校独自のアンケート調査を紙で運用しているため、実施および集計報告業務に多大な稼働がかかっている。児童生徒に配布している Google アカウントを活用し Google form を用いてアンケート実施することで、稼働の削減をめざす。

(3) FAX でのやり取りなどを原則廃止

現在、学校から教育委員会への提出物において FAX での送付が必要となっている場面がある。教育委員会から学校への資料送付および、学校から教育委員会への資料提出を電子データで行うことができるよう、グループウェアにおけるファイル送付機能を導入する。

(4) 学校内の連絡のデジタル化

Google work space の活用による学校内連絡のデジタル化を徹底し、職員会議等の資料共有には Google work space や校務支援システムを用いることでペーパーレス化を促進する。

(5) クラウド環境を活用した校務 DX を推進

児童生徒の欠席・遅刻連絡のデジタル化や、校務のロケーションフリー化による、教職員の負担軽減を実現するために利便性の高いクラウドサービスを導入する。クラウドサービスを安全な環境で活用できるようゼロトラストの考えに基づいたセキュリティ環境を構築する。ゼロトラスト環境下で、教職員が使用する校務系端末と学習系端末の一台化を実現しさらなる利便性向上をめざす。

(6) 次世代の校務支援システムの導入に向けた検討

現在導入している校務支援システムについては、北部地区で統一する方針があるため、速やかに作業を実施し、様式統一が図られた際に活用できる校務環境を整備する。

次世代の校務 DX の推進における学校と教育委員会、学校内での教員や事務職員、ICT 支援員、教員業務支援員等の役割分担を整理する。

現在、教育情報セキュリティポリシーを最新のガイドラインに準じる内容に改訂している。策定された情報セキュリティポリシーに基づき、順次、校務に関わる ICT 環境の改善を図る。